学びのアルバム　NO.4

いよいよ、水遊びの季節がやってきました。
例年、この時期からゆっくりと手順を覚え、本格的な遊びの準備を始めます。まずは、自分で衣服の着脱ができることが大切ですね。濡れた衣服を脱ぐのは、子どもたちにとっては容易なことではありません。それでも、自分のことが自分でできるようになると、急にお兄ちゃんやお姉ちゃんの顔になります。
お子さんは、ひとりで着替えができますか？
本格的な水遊びはもうすぐです。一緒に準備をお願いします。

水が冷たくてきもちいい！

家から持ってきたペットボトルに小さな穴を掛け、どんなふうに水が出るのかと試したくて仕方のないさくら組。早速、タライに水を入れ、実験開始です。

穴がいくつ空いているのか、どこに空いているのかによっても、水の出方は変わってきます。中には、「どうして〇〇ちゃんと同じにならないの？」と、不思議そうに教師に伝えに来たり、友達の様子をじっと見たりする姿も見られます。
子どもたちが『なんで？』『どうして？』という不思議に思う気持ちや『あっ、そうか』と自分たちなりに解決しようと一生懸命に考えたり、相談したりする力を、伸ばしていきたいですね。

つめたくて
きもちいい！！

持ってきたペットボトルでさっそく遊び始めます。

みてみて！
こんなにとんだよ！！

足にかけると
きもちいいね！

ふたを閉めると　水が出なくなる。
どうして？？
プール用 R2.6

みて！
くらげみたい！！

幼稚園の水遊びの基準は、気温26度以上で風のない日を適当としています。
気温が高くても、風のある日には、水浴びをしただけで体を冷やしてしまうので、天候もよく見て判断します。

さて、今年は何回水遊びができるでしょう。
楽しみですね！